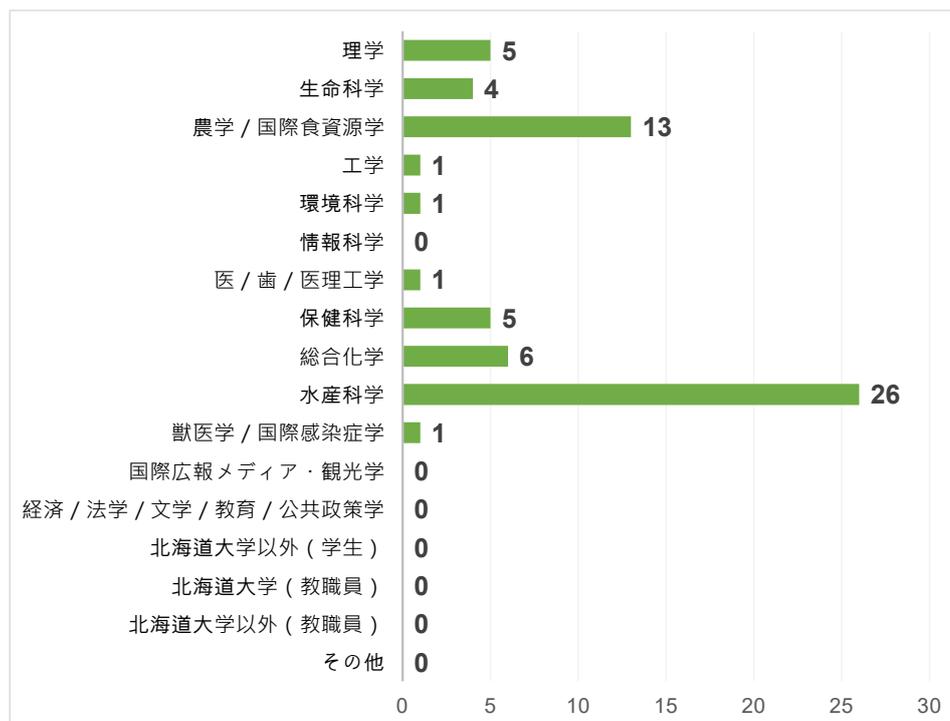


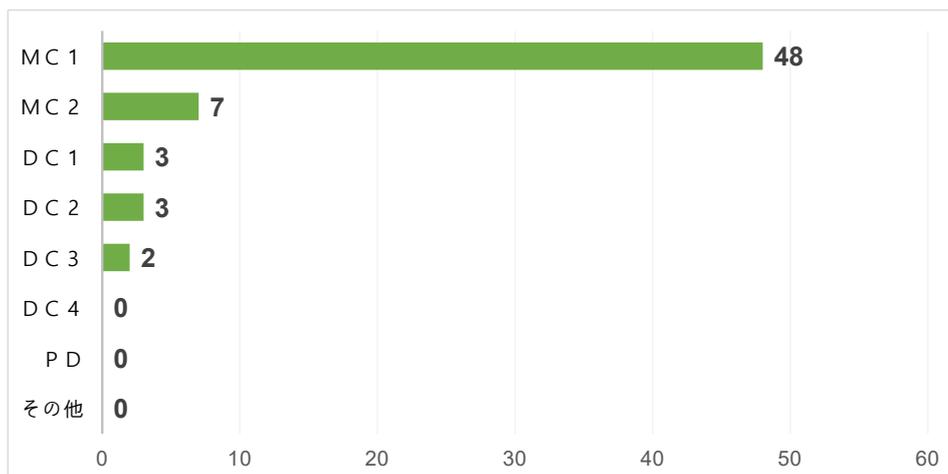
2024年度 Advanced COSA (1) アンケート

回答者数:63名(参加数:102名)

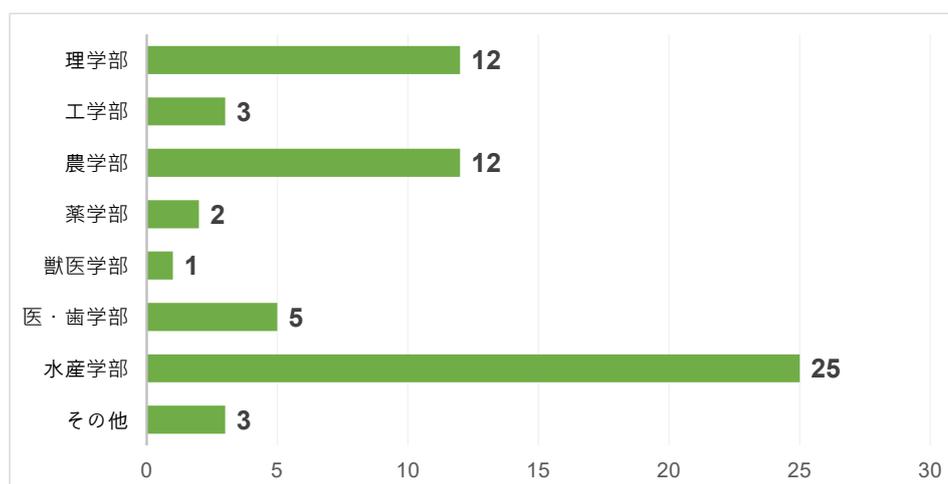
[1] あなたの所属を教えてください。



[2] あなたの学年を教えてください。

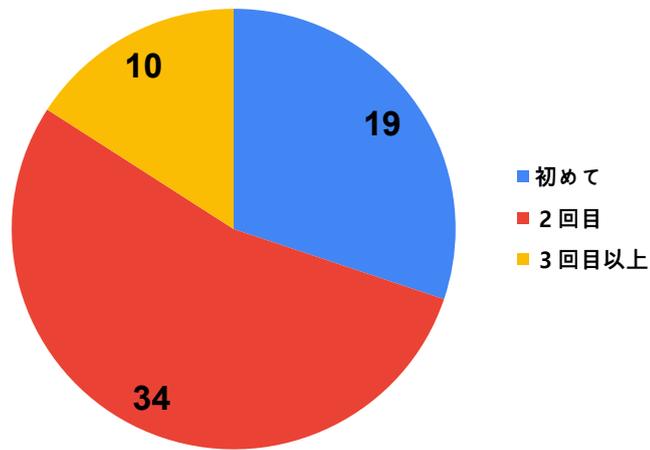


[3] あなたの出身学部を教えてください

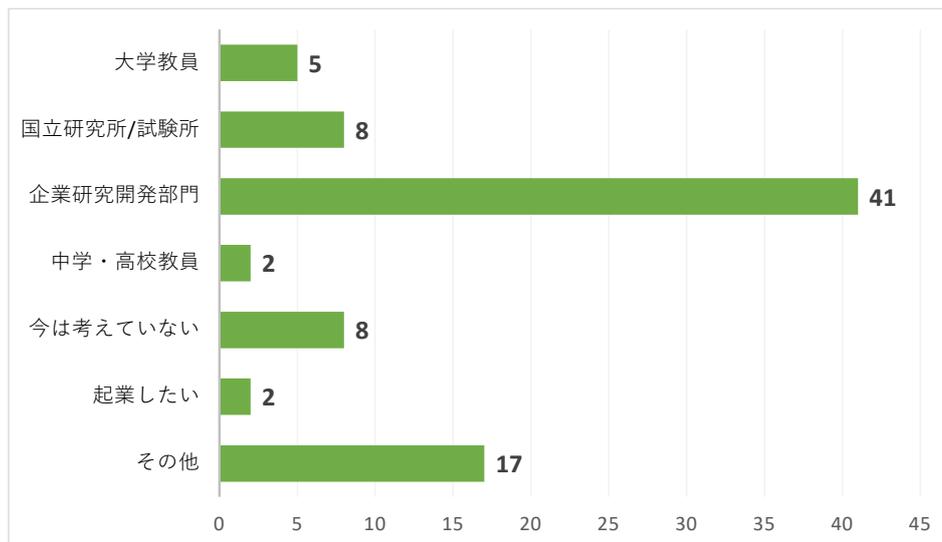


その他: 弘前大学農学生命科学部、他大学・生命科学科、教育学部

[4] 先端人材育成センター主催のセミナー等受講は初めてですか？



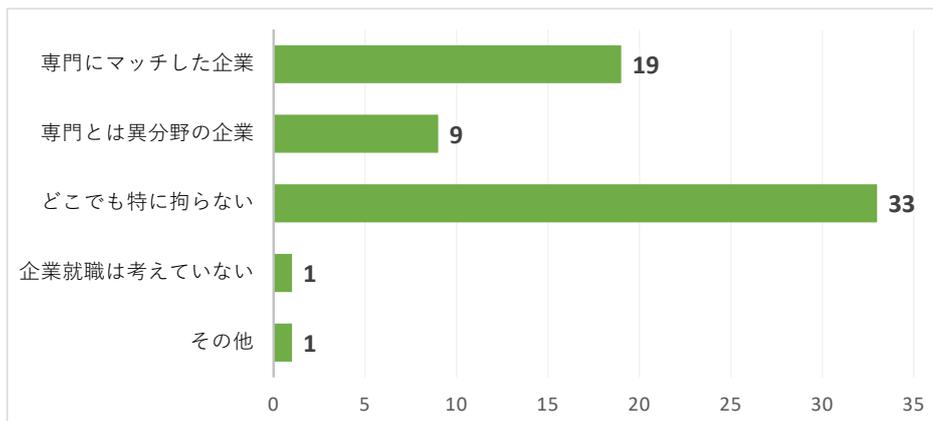
[5] どのような分野への就職を希望しますか？（複数回答可）



その他:

企業事務系、企業の生産技術または品質管理、一般企業、
企業の営業部門など文系職、金融、民間企業、水族館、企業の研究開発部門以外の技術職や分野、
企業総合職、企画開発、官公庁、すでに内定先が決まっている(IT系)、マーケティング 等

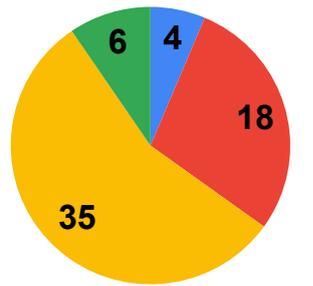
[6] どのような分野の企業に就職したいですか？



その他:すでに内定先が決まっている(IT系)

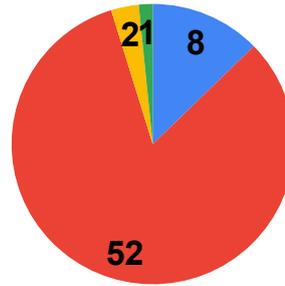
[7] 企業における研究開発についてあなたはどの程度知っていますか？

<受講前>



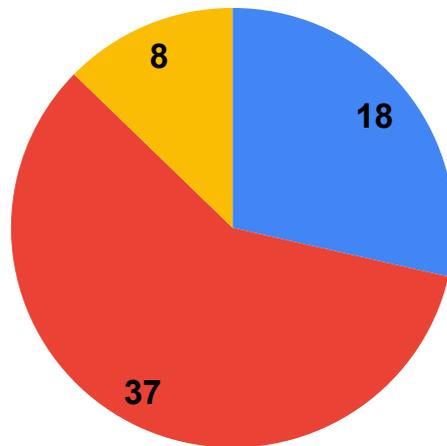
- 具体的によく理解している
- ある程度理解している
- あまりよく理解していない
- 全く理解していない

<受講後>



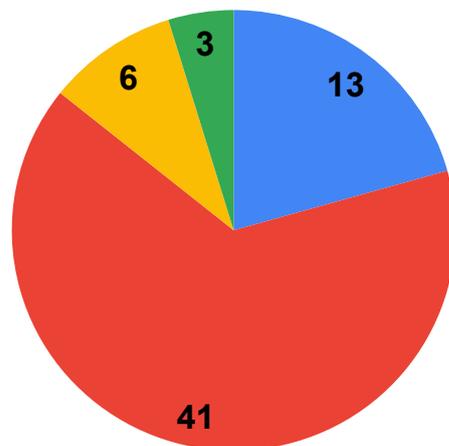
- 具体的によく理解している
- ある程度理解している
- あまりよく理解していない
- 全く理解していない

[8] 企業での研究開発業務について、ある程度以上理解したあなたは、そこに魅力を感じましたか？



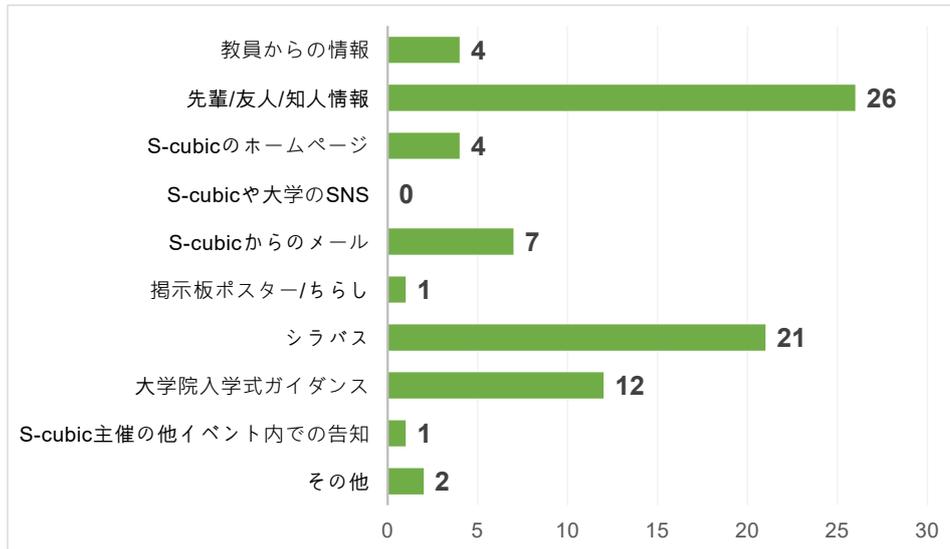
- 大変興味深くおもしろい
- ある程度は興味を感じた
- あまり興味がわかなかった
- 全く興味がわかなかった

[9] 科学技術系のあなたが企業に就職した場合、どのような業務を担当したいですか？



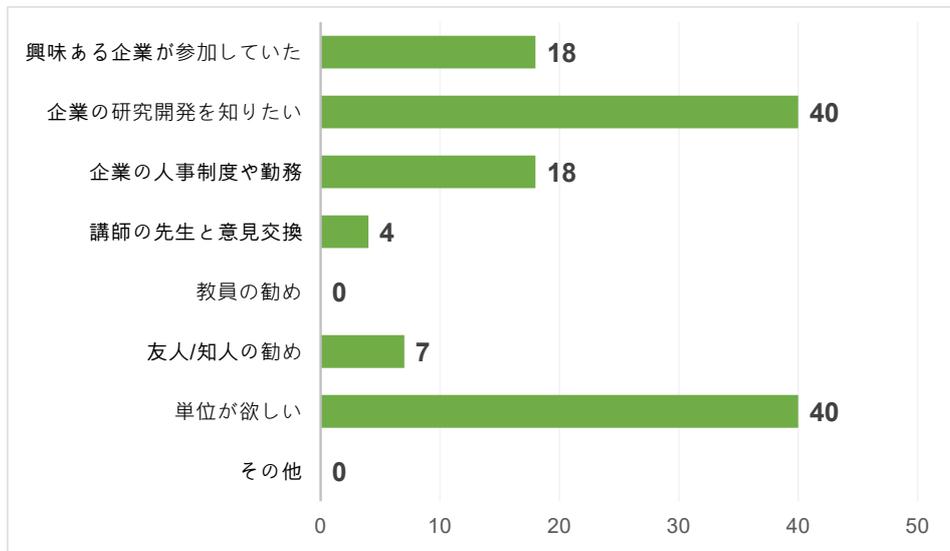
- 自分の専門分野
- 科学技術分野なら何でも
- 科学技術系以外の業務を
- 事業やスタッフ
- 企業就職は考えていない

[10] A-COSA開催はどのようにして知りましたか？(複数回答可)

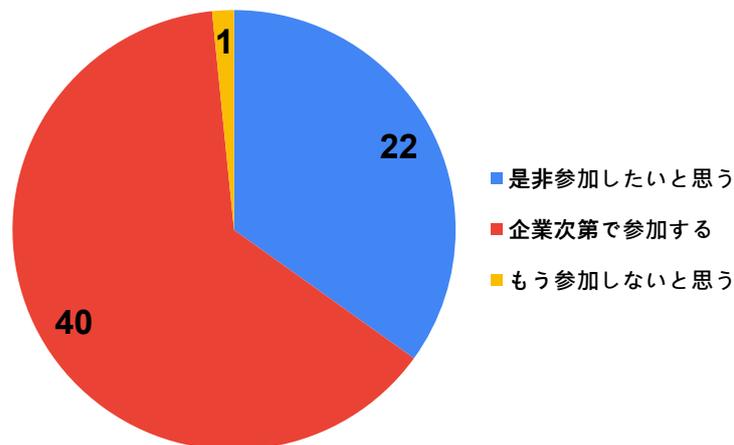


その他: 学内プログラムからの紹介、SMatSプログラムの選択履修科目

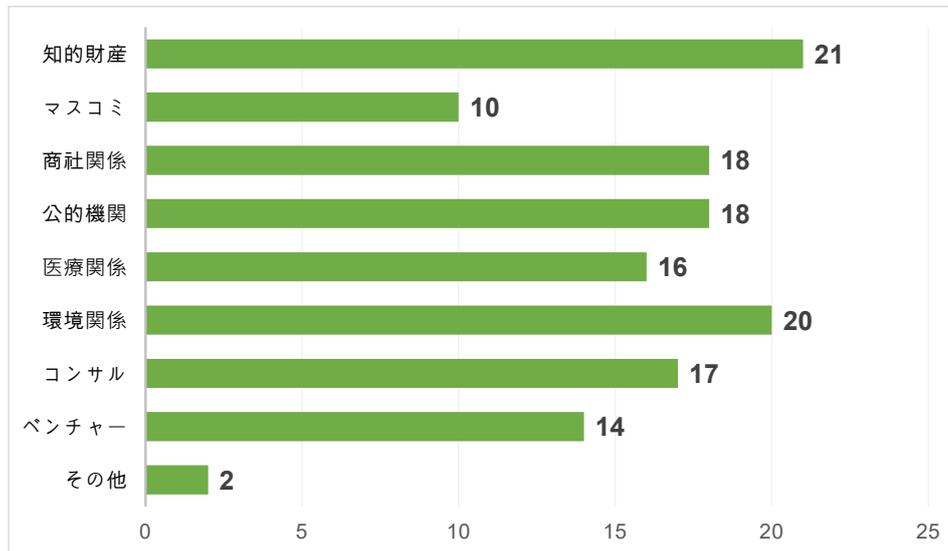
[11] A-COSAに参加の理由を教えてください。(複数回答可)



[12] A-COSAにまた参加したいですか？



[13] 研究以外の業界／業務では、どのような分野の講師のお話を聞きたいですか？



その他: インフラ(電気・ガス)、私にとっては、今回の顔ぶれの方が必要十分でした

[14] 講演内容について参考になった点や、印象に残った事などをご記入ください。

1	講演いただいた方たちが、どのような背景で今の企業に就職されたかが聞けて良かった
2	視野を広げることの重要性。就活の際に条件を取捨選択するのではなく、順位づけすること。
3	チャレンジ精神の大切さを学んだ。
4	特になし
5	質問への受け答えが明確であった。
6	キャリアプランの形成
7	皆さんの就活当時の話が聞けたのが良かった。
8	特になし
9	環境を変えることで視野が広がること。
10	変化を恐れず新しいことに挑戦していくことが大切
11	企業研究とアカデミック研究の違いや所属してる企業に対しての良い点だけでなく悪い点についても話していたこと
12	幅広い年齢層の先輩方のお話を聞いてよかった
13	将来のキャリアに対する姿勢や、選びうる選択肢が増えたこと
14	適切に転職して分野を変えることも重要です
15	企業研究と大学研究の違い
16	特になし
17	女性視点でのキャリアの歩み方が参考になった。
18	志望業界の人の研究開発に対する意識や実際の業務。
19	企業研究とアカデミアの研究の違い
20	目的のところ
21	研究開発職の内部事情など、博士と修士がどのように企業に入ったら変わるのかを学んだ。
22	研究開発が意外と身近であることがわかった。
23	研究開発職の内容やそのキャリアなどが参考になりました。

[14] 講演内容について参考になった点や、印象に残った事などをご記入ください。

24	研究職の概要が理解できた
25	企業に入ってからキャリア形成が多様であると理解できた
26	企業に研究職としても様々なキャリアに分岐する可能性があること。
27	担当領域が変わる方が多いことが印象的だった。キャリアを切り拓くということの具体的なイメージができるようになった
28	企業選びの軸(自己分析)が論理立てていてなされていたのがとても参考になりました。自分も自己分析をしっかりと自分にマッチした企業に入社できるようにしたいです。
29	企業に入ってから必ずしも自分が思い描いたキャリアを歩めるわけではないものの、そこから新しい発見がありより自分のやりたいことを見つけられることもあるということ。
30	大企業の公募制度を、久保さんや秋田さんをはじめ多くの方が利用されていることが意外感じました。本部長と相談した、等の話を伺ったことで、企業が育成した人材をわざわざ専門外の部署に異動させてはくれないだろう、という体感的な考えが変わり、企業のイメージがより具体的に感じられるようになりました。
31	その企業に就職したきっかけや大学時代の研究内容とのつながりを知ることができたことが印象に残っています。
32	CoSTEPに参加したいと考えていたため、話を聞くことができてありがたかった。
33	企業研究について理解が深まりました。
34	5人の方のお話を通して、大学と企業での研究の違いや、企業の技術職におけるキャリアの歩み方を理解する事ができた。これらを今後の進路選択の際に活かしたい。
35	自分を取り巻く環境や自分のやりたいことが変化していく中で、新しいことに挑戦できる機会を積極的に探していくことが大切だと思った。
36	研究のテーマが異なる職種でも活躍できるんだと感じた
37	特になし
38	企業全体としてのお話だけでなく、講師の方がどのように考えてキャリアを選択しているのかが具体的に知れて、参考になりました。どの方も色々なことは挑戦を積極的に自分からしているなという印象を受けました。
39	研究職として入社しても、ずっと研究し続けるわけではなく、多様なキャリアがあるのだということ。
40	修士学生は研究職は難しい、博士が前提という話をよく耳にしていましたが、修士学生でも伝え次第では研究職に就けることを知れたのが大きかったと思います。
41	就活で自分が何を優先するのかの準位をつけて考えていく事
42	博士課程に進学したとしても専門にこだわる必要はなく、自分の興味のある方に飛び込むことの方が大事であることが印象に残った。
43	色々なお話を聞いた上で、最後の吉原先生の総括の、「企業はスペシャリストの学生をリクルートし、内部でジェネラリストに変わっていくことを期待する」という内容が、非常に納得のいくものでした。
44	将来のキャリアについて皆さんがどのように考えているのかが非常に参考になった
45	前半の講師の先生方からは、変えられない環境要因に対して、自分がどうアクションするかといった行動基準や判断基準が参考になった。後半の講師の先生方からは、北大博士課程において、就活の軸をどこに置いていたかや価値観について勉強になった。
46	博士号自体が日本企業ではそんなに生きていないこと
47	年代の近い先輩方が、キャリアについてどのように悩んで、どのように決断されてきたのかがとても参考になりました。自分があまり志望していない業界の先輩のお話も、キャリアの悩みという点では共通点が多く、参加してよかったと感じました。
48	これまで就活セミナーなどで、起業を調べる際には選考にとらわれず業界を幅広く見る、ということを知っていましたが、企業のホームページを見るとその事業に関係のあるような学部の人ばかりで、自分自身専攻に関係のある所ばかり見えていました。しかし、実際のリアルなお話を聞いて、領域が違うだけでなく、研究自体から離れて働く人も多くいることを知りました。自分が入社する時に企業に求められていることを改めて考える機会になりました。
49	予期せぬ異動にもポジティブに考えていたこと。

[14] 講演内容について参考になった点や、印象に残った事などをご記入ください。

50	皆さんが楽しく仕事をしていること
51	複数のキャリアを経験してきた方々のお話を聞けたので、入社した際の職種がすべてではないことが参考になった。
52	企業を選ぶうえで様々な考え方に基づいて決める人が多いのだと参考になった。
53	企業では会社都合で自分のやりたい仕事ができなかったり、忙しくて自由な時間があまりなかったりするのではないかと考えていたが、大手の企業は社内公募制やフレックスタイム制など、社員が働きやすい環境をつくるための制度が多いことが印象に残った。 また、講演者の方々は将来のことや企業にどのように貢献したいかを考えていて、自分のキャリアについて考えることの大切さを学んだ。
54	自分の専門分野の仕事に就職しなかった場合でも、大学院で得た知識や技能は生きるという印象を強く受けました。
55	社会人の生の声を聴けることそのものが有意義な時間だった。
56	製薬会社さんの若手研究員の仕事内容の詳細が聞いて良かったです。
57	皆さん変化を全く嫌がっておらず、自分もそうしようと努めようと思った
58	研究員として事務の仕事に変えてもいい
59	企業だから起こりうる事象がわかった
60	特になし
61	研究内容をそのまま活かせるようなことはあまりないという点
62	研究開発職のリアルな話が聞けたこと
63	「これって何なのさ？」ドリル

[15] Advanced COSA(1)についてのご感想・ご要望などをご記入ください。

1	修士卒の人の話も聞いてみたいと思った
2	就職先の選択肢を増やすことの大切さを講演内で説明しているのに、選ばれた人たちの多くが研究職にすんなり就職していたことに面白さを感じた。
3	リスクを犯さないことのリスクを理解できた。
4	特になし
5	2日間で集中して学べて良かった。 大企業がメインだったので、ベンチャー企業や中小企業もあると面白かった。
6	特になし
7	質疑応答の時間がたくさんとられて非常に参考になりました。
8	特になし
9	自分も積極的にチャレンジして、様々な環境を経験したいと思った。
10	様々なキャリアの先輩方のお話を聞くことで、今まで知らなかった視点の考え方に触れることができた。
11	とても楽しかったです
12	質問しやすい環境がよかったと思う
13	ハイシステムを使った履修登録がとても分かりづらく、きちんと登録できているか不安になる点
14	水産科学院から卒業したOB/OGの話を聞きたいです
15	キャリア形成について理解が深まった
16	いろいろな企業を知ることができるのはいいことです
17	水産科学院所属のためオンライン受講でしたが、音が小さく聞きにくかった。

[15] Advanced COSA(1)についてのご感想・ご要望などをご記入ください。

18	世代の近い人のキャリアが分かり参考になった。
19	ありがとうございました
20	おもしろかった
21	自分が知らない分野(IT系)などの企業の説明を知ることができ、とても有意義な時間だったとともに、研究職の魅力や大変さを詳しく知ることが出来た。
22	わかりやすくよかったです。
23	研究開発職の大変さや楽しさがよくわかりました。
24	特になし
25	非常に参考になったセミナーでした。しかし、実験の都合上、丸2日潰すのは非常に負担だったので、可能な限りオンデマンドで行って欲しい。キャリア形成を学ぶために、キャリア形成の主軸となりうる研究に支障が出るのは本末転倒であると思う。
26	自分はオンラインでの参加だったが会場がどのような雰囲気なのか伝わりづらかったので、会場全体の様子なども観れたらいいと感じた。
27	博士卒の方の企業でのキャリア変遷を理解でき、非常に面白かった
28	人生設計についてかなりイメージができました。
29	普段企業の研究開発の方のお話を聞けることがないため、大変貴重な機会でした。ありがとうございました。
30	貴重な機会を頂き、誠にありがとうございました。講師の方々の現在の仕事のみならず、修士博士での研究や、異動前の仕事についても伺えたことでキャリアを線で理解しやすいと感じました。
31	理系といっても様々な研究分野があるため、毎回違う分野の方が講義してくださるのが良いと思いました。
32	オンライン受講は、なかなか難しかった。ですが、改善策は思いつきませんでした。
33	将来の展望がある程度定まりました。ありがとうございます。
34	質疑応答は対面で実施した方が良いと感じたが、初めのお話はオンラインで何度も見返せる方が、質問を練りやすいと感じた。
35	企業の説明だけではなく、そこに勤める人々の経験や考え方についての話を聞く機会はとても貴重なので受講してよかった。いつのまにか就職することだけに集中してしまい、就職後の自分がどうなりたいたいのか、何をしたいのかについて考える時間を疎かにしていたことに気づくことができた。講演と質疑応答の間の休憩時間が5分ほどしかなかったが、10分ほどあった方がお手洗いに行きやすいと思う。
36	近い年代の先輩から少し離れた世代のOBOGの方々のキャリアや、そう至った経緯など詳しく聞けてよかった
37	特になし
38	自分が興味のある企業が参加しているのが一つのきっかけで受講しましたが、様々な企業の方のお話を聴く中で、この企業でも活躍できる場があるかも！と視野を広げることができました。レポートを書く際にももう一度振り返り、自分の考えと比較し、キャリアについて見つめ直したいと思います。
39	これまで、企業の研究職について漠然としたイメージしか持っていなかったため、具体的な話を聞けてよかった。
40	5名の社会人の方へのインタビューが非常に参考になることが多かったです
41	様々な企業や立場の講師がバランスよく招待されている点と、質問時間が長くとられている点が良かったと思う
42	企業での研究についての理解を深めることができました。
43	他の人のキャリアパスやキャリアについての考え方を聞いて自分は何をしたいのだろうかと考えるキッカケにしたい、という明確な目的意識を持ってお話を聞かせていただきました。(吉原先生のガイダンス動画が改めてとても参考になりました。)5人の講師のお話を聞く中で、改めて私自身の希望が浮き彫りになりました。非常に得られるものが多かったです。ありがとうございました。(思ったより修士の学生が多く、想定していた印象と少し異なっていて最初は戸惑いましたが、同じように積極的に参加していた知人が2人ほどいたため、なんとかなりました.....M1の学生が多い講義だったのですね)

[15] Advanced COSA(1)についてのご感想・ご要望などをご記入ください。

44	非常に勉強になりました
45	各机にコンセントのある教室で講義を行なってほしい。(PCを充電したい。)
46	特になし
47	修士の時は受講しておらず、博士になって初めて受講しましたが、アカデミアと企業で迷っている自分にとってとても参考になる講義でした。
48	自分と同じ院を出た先輩で、社会人として活躍されている方のお話を聞くことが無いので、こういった機会がもっと欲しいと思いました。
49	大変参考になった。
50	博士課程を修了している方ばかりで、博士進学の手配がない立場にとっては、色々な分野から話を聞けたとは言えない内容だった。
51	時間配分や休憩時間なども適当であり、一つ一つを集中して聞くことができた。
52	仕事に対する熱意を持った人が多く、活力があるのだと感じました。
53	研究開発職か文系職のどちらに就職するのか迷っているが、具体的な業務内容や働き方をあまり知らなかった。本セミナーで研究開発職の業務を知ることができてよかった。
54	上記のように、大学院で得た知識や技能は社会人として生きる力となると思ったので、心配せずに大学院での勉強や研究に熱意を注いでいきたいと思いました。
55	大変興味深い内容ばかりで、内定先が決まった今、社会人になることに対する期待が増しました。
56	特にありません。今後も参加させていただきます。
57	様々なキャリアを歩まれた方々のお話を聞いて参考にしたいと思った。
58	企業研究員のキャリアに対する理解は深まった
59	時間が長すぎるので、小分けにして複数日開催のほうが参加しやすい。
60	特になし
61	今まで知らなかった企業での研究について知れて理解が深まった。
62	修士卒の理系の方の話も聞きたい
63	将来選択の指針の参考になりました